

編集後記

はじめに、『韓国留学生の仏教学 SEMINAR』第 10 号を 2005 年 7 月に出版するのはこびでございましたが、予想より遅くなってしまったことにつきまして深くお詫び申し上げます。

今に到るまで多くの方々からの励ましと、性徹思想研究所の圓澤師の御配慮を頂いたお陰様で、蔵経閣からこの『韓国留学生の仏教学 SEMINAR』第 10 号を無事出版することができました。言葉もなく心より有り難く存じております。

この論文集が刊行されるまで、お忙しいのにも関わらず、貴重な研究時間を割いて原稿を執筆して下さいた立正大学三友健容教授や韓国東国大学の教授である戒環師、また、東国大学院社会福祉学科の尹賢淑教授、松広寺僧伽大学講師(学監)である元鏡師及び池麗海師、金京南氏、鄭榮植氏、周柔含氏、一黙(朴点淑)師、空玄(李勝鉉)師、佐々木大樹氏、今回、論文を書きながら、論文集の編集や韓国留学生の印仏学会の色々な仕事に尽力をつくされた副会長である朴竣奭氏、そして全会員に心より謝意を表させていただきます。

特に、本雑誌の論文集には、アビダルマと中国華嚴、中国天台、また韓国仏教、日本仏教、初期仏教、仏教福祉、密教、仏教美術などの様々な分野の論文が載せられておりますので、多方面の研究成果が出て、後学に多様な仏教についての指針となったであろうことを幸いに存じております。

さらに論文集を発行するための援助金や、出版について様々にご協力して下さいた大韓仏教曹溪宗教育院院長(青和師)及び、性徹禪思想研究院の圓澤師、慧学師、図書出版蔵経閣での論文集出版の担当である崔元燮氏と職員の方々、そして金鍾萬氏、金成泰氏、朴盧義氏、孔テウオン(공태원)氏、孔ソンウン(공성은)氏などの皆様に重ねて深く御礼申し上げます。

本論文集の刊行に際し寄付金を集めるために一生懸命努力させていただきながら、足を運んだのですが、韓国の経済不況が迫り、最善を尽くした結果としては甚だ思うようにはなりません。しかしながら、せいっぱい努力さ

せていただきました。いずれにせよ、皆様のお陰様で、どうにか無事に『韓国留学生の仏教学 SEMINAR』第 10 号を出版するまでに至り、もう一度心を込めて感謝させていただきます。

最後に、学会について巻頭言や論文に至大な関心と御支援を惜しみなくお寄せくださいました三友健容先生、戒環師、尹賢淑先生、責任者のご指導をしていただいた金天鶴氏方々に心から感謝の気持ちを、ぜひお伝えしたく存じます。

会長 空海(金 希泰) 合掌